



さくら便り

36号

令和4年11月

10月22日「さくらの会」はシルバーの会に依頼して、桜の枯れ木5本を伐採しました。伐採した木は、11月6日アダプトで出たごみと一緒に処理して頂くよう。高瀬様に頼み、ご自宅前に置かさせて頂いております。なぜ枯れてしまったのか、検証してまいります。北島に植えた桜の苗木は、根付く見込みがない為諦めました。又、無料で手に入りましたら植えなおすつもりです。

(散歩の友) 今回は各務原の航空自衛隊基地の西に位置する三井山(みいやま)について書かせて戴きます。三井山は古墳時代後期の古墳・磐座(いわくら)の祭祀遺跡があり、古代より人の営みがあったところです。御井神社(みいじんじゃ)、創建は不明であります。創建当時は三井山山頂に置かれ、三井山全体が御井神社の境内でありました。御井神社は出雲の御井神社に起源があります。出雲の御井神社は古事記にも登場し「当社を拝み、神秘の神符(ごふ)を戴くにおいては、安産疑いなし」と安産の神です。文明14年(1482)美濃国守護土岐成頼が室町幕府の御料所(直轄地)のある三井郷の年貢の取り立てを任された際に、在地領主として任命された土岐氏の家臣であり、斎藤氏の一族の花村修理の子孫である三井弥一郎もしくは土岐氏の土岐忠八郎が山頂に三井山城を築きました。この地は木曾川が南に流れていることから、軍事上重要な位置にあり、古くから砦が築かれていたようです。天文17年(1548)美濃国の守護土岐氏と守護代斎藤氏との紛争の最中、尾張国の織田信秀(信長の父)に攻められ落城し、そのまま廃城になりました。御井神社は三井山城築城の際、戦乱を避けるため1Kmほど西に遷座させ、麓には池之宮を置いたとあります。現在三井山は公園として整備され、山頂からは自衛隊基地が眼下にあり、犬山城・岐阜城も望めます。

先日、ホームページを見る事が出来ないのご指摘を受けました。グーグルリサーチでサイトマップを送り、コントローラにひっかけてもらうようにしておりますが、なかなかひかからず申し訳なく思っております。リサーチ画面ではデータ不足と出てきます。どうしたらよいのか私の頭では分かりません。詳しい方がおられましたら助けてください。宜しく願い致します。

桜を愛する会